



株式会社日本バイオリサーチセンター

Nihon Bioresearch Inc.

〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

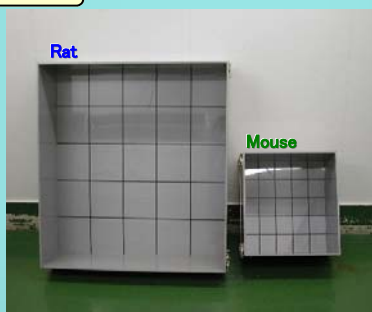
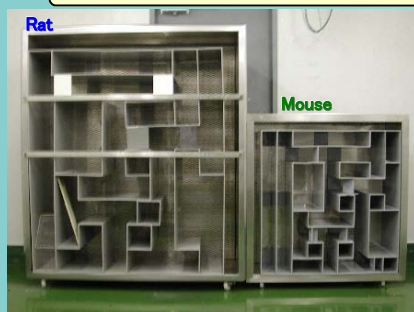
TEL 058(392)2431 FAX 058(392)1284

URL: <http://www.nbr.co.jp/>

マウスの生殖発生毒性試験、豊富な実績とバックグラウンドを持つ
NBRに是非お任せ下さい！ **全ステージ**で実施可能です。

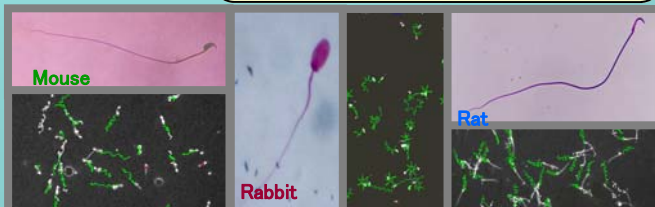
	マウス			ラット			ウサギ
	Study 1	Study 2	Study 3	Study 1	Study 2	Study 3	Study 3
2003年度から現在まで	5	3	11	22	7	16	23

《学習能検査・情動行動検査》



《精子検査》
マウス・ラット・ウサギの
 精子検査(活動性、精子数、形態)
 が実施できます。

マウス専用の Water T-maze
 および Open Field 装置があります。



佐部利 典彦のアートギャラリー(15)

岐阜県出身(1969～)

作品解説

作品タイトル:「呼吸」 アクリル絵の具、M 120号

私の大切な場所、大宰府天満宮のクスノキにインスピレーションを受けています。その場所の空気感を色とタッチで表現しました。



お知らせ:

- ・ 次回は、ミニバタ試験に関するホット情報です。

こちらから

(株)日本バイオリサーチセンター
業務企画部の連絡先が入手できます。

『心の絆 - その15 -』

昭和30年代ごろまでの話です。農家では子供の手も大きな労働力でした。田おこし、田植、稲刈りなど全てが手作業で、子供の手伝いは当たり前でした。農繁期は小中学校も休みになりました。また手が足りない、近所同士が作業を当然のように助け合いました。「お互いさま」の文化が定着していました。やがて経済成長が農業分野まで広がると、田植え機、稲刈り機などが人の力に代わっていきました。それも各農家が競って機械を購入しました。それと共に「助け合い文化」や「お互いさま文化」が希薄になっていきました。いろんな産業分野で生産性、効率性、利便性を優先にして機械化を進めました。機械化や利便性を否定するものでもありません。ただこうした言葉の中に薄れ消えていく文化を惜みます。どの時代になっても一人ひとりの力は弱いものです。形は違っても、「助け合い」「お互いさま」の文化は残したいものです。まだ誰も心の種火は残っています。